

<凡例>

(1) 文字について

ア ◆U----◆は、ユニコードはあるが、文字が表示できないものを表す。

例：◆U8FC7◆(左にしんによう、右に寸)我

※()は文字の説明

イ ◆D----◆はユニコードにはないが、『大漢和辞典』(大修館書店 1989-1990)に記載のある文字を表す。

例：◆D40939◆(左に金、右に葛)二百六十斤

ウ 文字が不明な場合は、□で表示した。

エ 文字が確かでない場合は、推測した文字のあとに「？」を付けた。

オ 誤字はそのまま入力し、後に(ママ)と記した。

例：佛國民圖出版(ママ)

(2) 原稿類について

全集原稿のタイトルは、現物に記載がない場合は、『内藤湖南全集』(筑摩書房 1969-1976)から採用した。

(3) 貴重図書について

備考欄に“CL21”の請求記号があるものは、貴重図書にあたり、貴重書庫に別置している。

<利用>

(1) 文庫(特別)および貴重図書であるため、利用については図書館ウェブサイトの「貴重書、準貴重書等 特別蔵書のご利用について」※ をご参照ください。

※URL：https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page_id=17352

(2) 書簡等一部の資料には利用制限があります。詳細は各キャンパス図書館カウンターにお問い合わせください。

(3) 各箱の請求記号と資料IDは、各リストの最初に記載されています。